

# Nihongo Network News

2004.12.10発行

No.48

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク（連絡協議会）として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由を感じている外国人などを隣人として支援しています。

TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 ☎03-3235-1171

東京ボランティア・市民活動センター メールボックスNo.4



緑のオアシス・東京・

日比谷公園で美味しいアジア料理と音楽・踊りのイベントが9月18日・19日の2日間賑やかに開かれました。会場は暑さに負けずアジアの食文化を求めて多国籍の人達が集まっていました。

会場の一角にTNVNは相談コーナーを設け3名のTNVNスタッフが日本語ボランティア教室の紹介や活動の説明をし

## 「東京エイジアンシティ・フェスティバル2004」で日本語ボランティア教室の相談コーナーを開きました。

した。向かいの屋台には大勢の人がインド料理を買い求め、時々その店長は流暢な日本語で話し掛けていました。

30名を超える外国人や家族が相談に立ち寄せられ、熱心に教室の場所探しや連絡場所をメモしていました。ここでも「ボランティア日本語教室一覧2004東京」が一役。その中の一組はまた飯田橋の事務局に来られ更に情報を求めて帰りました。日本語学習の場を探している人たちにチャンス差し上げることが出来ました。



## 「日本語フォーラム2004 in TOKYO」の分科会で東京地域の日本語ボランティア活動について報告しました。

日本語フォーラム全国ネット主催の「日本語フォーラム2004 in TOKYO」が9月26日（日）東京・市ヶ谷の法政大学大学院校舎で開催されました。

午前の第1部では鍵谷智氏が「内なる国際化の現状と問題点」と題して、行政書士として日常の活動の中から“在留資格等実例に基づいた国、自治体、NGOの実状と問題点その他”を報告されました。（本誌2頁：鍵谷智氏の寄稿をご参照下さい）

午後の第2部では3分科会がありました。その内、分科会1「東京地域の日本語ボランティアの現状と課題」では、

- (1) 23区中心として (TNVN 梶村勝利)
- (2) 三多摩を中心として (TAMA日本語共育ネットワーク前代表 吉村多恵子)

の報告がありました。

(1)は今年4月に発行された「ボランティア日本語教室一覧2004東京」に掲載された日本語ボランティア教室に関するデータと、最近得ている情報から都内の日本語ボランティア活動を報告しました。（都内の日本語ボランティア活動状況は本誌NL48号とNL49に掲載します。）

(2)の吉村さんは「ネットワークの設立の経緯と現状」を報告、現在多摩地域

の15団体が2ヶ月毎の定例会を通して「参加者がともに学び育つことの出来るような活動を目指して」地域密着の活動を進めていることが報告されました。

報告の後、参加者（20名）全員は自己紹介を兼ねて活動を通しての質問、感想、意見などを出し合いました。

◆会の立ち上げ時の主旨・理念、活動の位置付け、基本的な考え方、等がハッキリしない。◆マッチングの難しさ。◆難民の学習支援。◆高学年のサポート。◆保育室の問題。◆生活支援を何処までするか。◆区内の団体が手を繋いでいない。◆行政が絡むと自由に出来ない。

等多岐にわたりました。

しかし課題解決のための討議をするには時間が不足していました。

（梶村 勝利）

## 1 | 内なる国際化の現状 (人数)

平成元年の入管法改正により、日系3世まで入国が認められるようになり、バブル景気の人手不足に伴い、南米からニューカマーと呼ばれる日系人が大挙来日するようになりました。外国人登録者数も約192万人（平成15年末）と増加して日本の総人口（約1億2700万人）の1.5%となり、過去最高となりましたが、スイスでは約19パーセント、ドイツでは約9%、英国では約4パーセント（出典：第二次出入国管理基本計画）と比較しても、内なる国際化とはほど遠いのが現状です。



## 2 | 日本はアジアの一員であり、欧米人は日本に住まない。

外国人登録者の内訳を見ますと、アジア（約142万人）と南米（約34万人）を合わせると実に92.2%で、欧米（約12万人）はわずか約6.3%に過ぎません。このことは、日本はあくまでもアジアの一員であることを如実に示しているといえます。欧米思考から、もっとアジアに目を向けることが大事ではないでしょうか。

## 3 | 内なる国際化の現状 (受け入れ体制は無し)

約30万人のデカセギ南米日系人を、日本政府は「単純労働者として受入れているわけではない。親族訪問として来日している。日系2世、3世には活動の制限がないので、たまたま働いているに過ぎない。」として、今日に至るまで抜本的な対策を何一つ取っていません。そのため、日本語学習、社会保障、

子どもの不就学（外国人は義務教育の対象外）、地域社会との軋轢（ゴミ出し、騒音）等、さまざまな問題が取り残されたままになっています。日本語の読み書きのできないままでは、これまで日本には無かった下層階級が生じかねません。

## 4 | 公的医療保険（社会保険や国民健康保険）から排除される事例

企業が会社負担分を嫌うなど、ほとんどの日系人は社会保険に加入していません。かといって、国民健康保険（以下国保）に加入しようとする、トヨタ自動車の企業城下町である豊田市を初め愛知県、静岡県では、厚生労働省の指示に忠実に従い、派遣会社等企業に雇用されている場合には社会保険加入で、国保の対象では無いといって、国保に加入させません。（注：外国人登録では勤務先の登録が義務づけられていて、強制加入対象『法人』かは外国人登録証明書を見れば永住者を除き一目瞭然です。）

社会保険事務所では指導はするが強制はできない、といって結局日系人は無保険状態を余儀なくされています。三重県、岐阜県では社保に関係なく国保加入を認めています。

## 5 | 立ちはだかる役人（役所）という抵抗勢力

このように、本来市民にサービスをするために雇われているにもかかわらず、外国籍市民にサービスを提供するどころか、逆に役人（役所）が外国籍市民を排斥しているのが外国人集中都市での現状です。

名古屋入管局長承認入国在留審査関係申請取次者  
行政書士 鍵谷智 (Immigration Lawyer)  
E-mail: kagiya@fsinet.or.jp

# 学習者をその気にさせるための ヒントあれこれ——

要点

常葉学園大学教授 清 ルミ

去る10月11日新潟県国際交流協会と新潟大学国際センターの主催で、新潟市朱鷺メッセにおいて「多文化共生シンポジウム」が開催されました。その中で筆者は講演を依頼され、「学習者をその気にさせるためのヒントあれこれ」と題して1時間講演をしました。

はじめに、学習者を支援する側の意識の有り様を再確認する必要があるのではないかと問題提起をしました。その後で教室活動の中でのヒントについて述べました。その要旨を以下に述べます。

筆者は高校時代に近所で中華料理店を営む中国人や運転免許取得をめざすフィリピン人などに対し、今で言うところの「日本語支援」をしていましたが、当時はまだ「日本語」という概念すら持っておらず、ただ相手にとって良かれと思うことを求めに応じて手伝っただけでした。その後、療術師免許を生かして医療・介護等のボランティアを細々と続けていますが、ボランティア活動をする側が「やってあげている」という意識を持ったり、活動に関わらない人を批判的にみたりする「ボランティアの心の中の暴力性」について自戒し、絶えず動機を正していかなばならないと痛感しています。

最近、ある日本語支援の場で、若い人が熟練者から「そんな格好で来るなんて。私たちは泥にまみれて毎日やってるんだから」と非難されたという話をききました。ボランティア活動をしていると世の中のひずみや不合理を目の当たりにし、行政の谷間に直面することもあります。従って「泥にまみれ」ているという

感覚を持つのも理解できますが、「やってます」と声高に言うのではなく、「楽しく、淡々と、あきらめずに、息長く」関わるのが、学習者と向き合うときの姿勢として大切なのではないでしょうか。学習者

との交わりを通して、支援する側の社会性が高まり、時事問題に関心を持ったり異文化交渉能力が身に付いたりする面もあります。支援者自身の可能性が広がっていく活動でもあるので、学習者に「あなたがいてくれたからこそ」と感謝する気持ちも忘れないようにしたいものです。

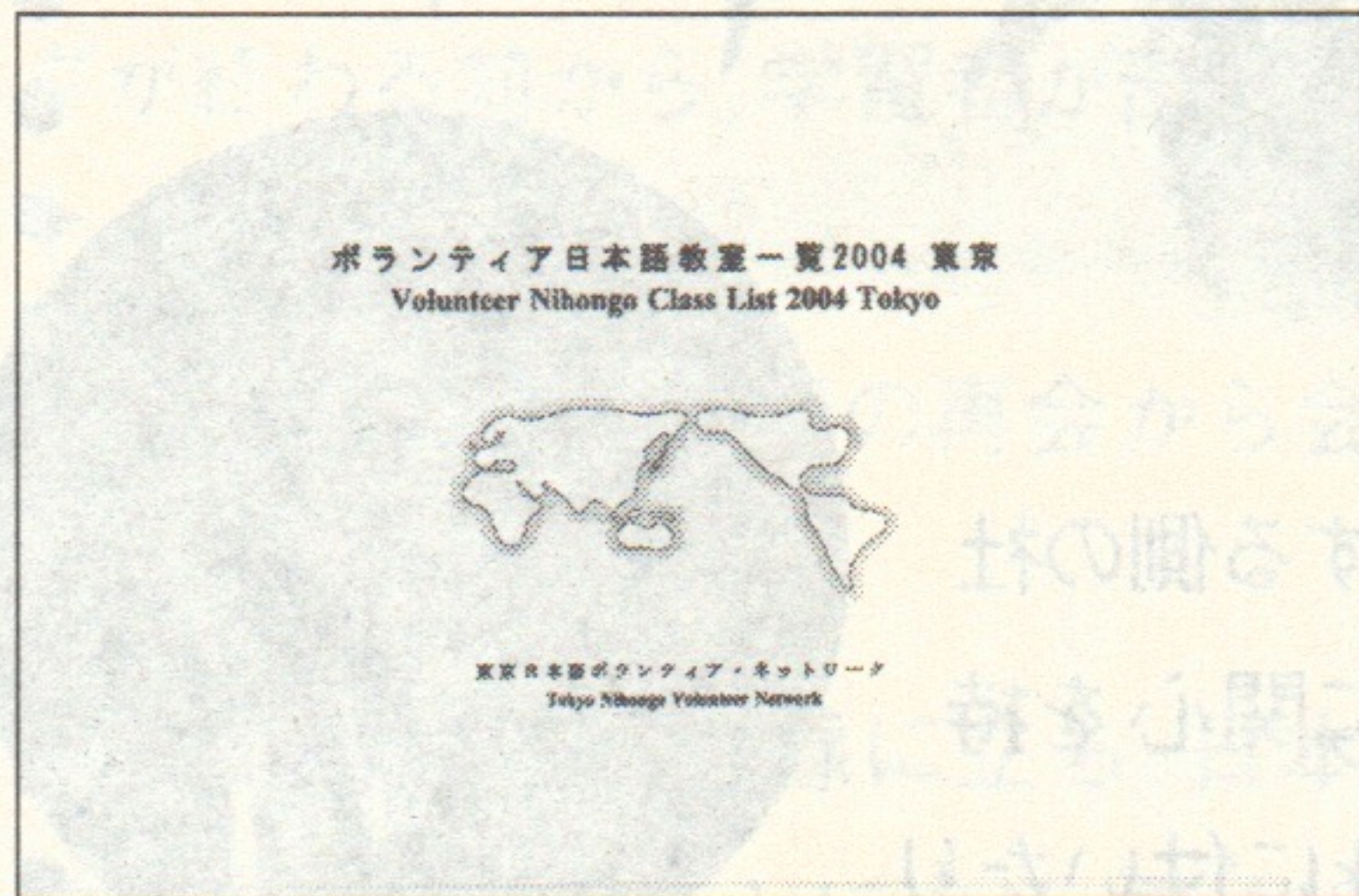
現在再放送されているNHK「新にほんごでくらすう」の講師を引き受けた際、コースデザインのために静岡県内の40人強の配偶者女性に予備調査を実施しました。その結果、夫や姑など身近な人に対する不満を溜め込んでおり、感情をうまく表現できないことに悩んでいること、深い謝意表明ができないこと、関係の遠い人や目上に対する待遇表現について聞いて理解はできても使えなくて困っていることなどが浮かび上がりました。それらの声を番組制作に盛り込みましたが、外国人の視聴者からは「本当にありがとう」「やっと夫と喧嘩ができるようになった」などの感謝の手紙が多く届いています。

実は、予備調査中、日本語学校やボランティア教室に通わなくなった理由として「教えてもらいたいと思うことを教えてくれない」「言いたい事が言えるようにならなかった」などの声が多く聞かれました。既成の教材やカリキュラムの通りに教えるのではなく、まず、相手が何を必要としているか、相手に沿って想像力を持って聞くことが必要だと考えます。母語話者には見えない死角があることに支援者自身が気づき、既成の「教え方」や「教授内容」の刷り込みから脱皮し、意識改革を図ることが急務だと感じています。

例えば「寝かす」という単語は一般的には「子供を寝かす」のように使われますが、料理番組を見ている人にとっては、「具を冷蔵庫に一晩寝かす」のように「そのまま置く」という意味の表現として必要です。流行歌の歌詞、テレビドラマ、映画など、身近なものをうまく取り入れ、教科書でカバーできない、日常的によく使われる表現を紹介していく工夫が求められています。



# ボランティア日本語教室の活動-1



東京日本語ボランティアネットワークでは主要な活動の一つとして「ボランティア日本語教室

ガイド」を1995年から発行し、2004年4月に第4冊目「ボランティア日本語教室一覧2004東京」(以下「一覧」)を発行しました。

本冊子「一覧」に東京都内の日本語ボランティア教室(161団体、195教室)の活動内容を掲載しました。東京都内で活動団体・教室の全てを調査出来ませんでしたが大半の状況は把握出来ていると考えます。団体数は区部123、市部35で区部が3/4となっています。

本誌面では全体の活動内容をグラフにしました。都内の日本語ボランティア活動の傾向を皆さんの活動している状況と比較し、参考にさせていただけたらと考えました。

「図-1 活動曜日」「図-2 活動時間帯」「図-3 クラス形式」を区部と市部に分けて図示しました。これらのグラフから日本語ボランティア活動の状況が浮き彫りになってきます。都内を区・市別のグラフ化することで地域の特長が読み取れます。

次回は「学習者会費」「学習者受入時期」「保育室」「子ども連れ」「ボランティア会費」「ボランティア受入時期」「ボランティア参加資格」等の掲載を予定しています。

※図-3クラス形式記号

- P/個人レッスン (Private Lesson)
- S/小グループレッスン (Small Group Lesson)
- L/教室レッスン (Large Group Lesson)
- SL/サロン形式 (Salon system)
- C/児童クラス (Children Class)

図-1 活動曜日

活動日は区部で火・水・木・金曜日に、市部は土曜日がが多い。週2回以上活動している数は少ない。

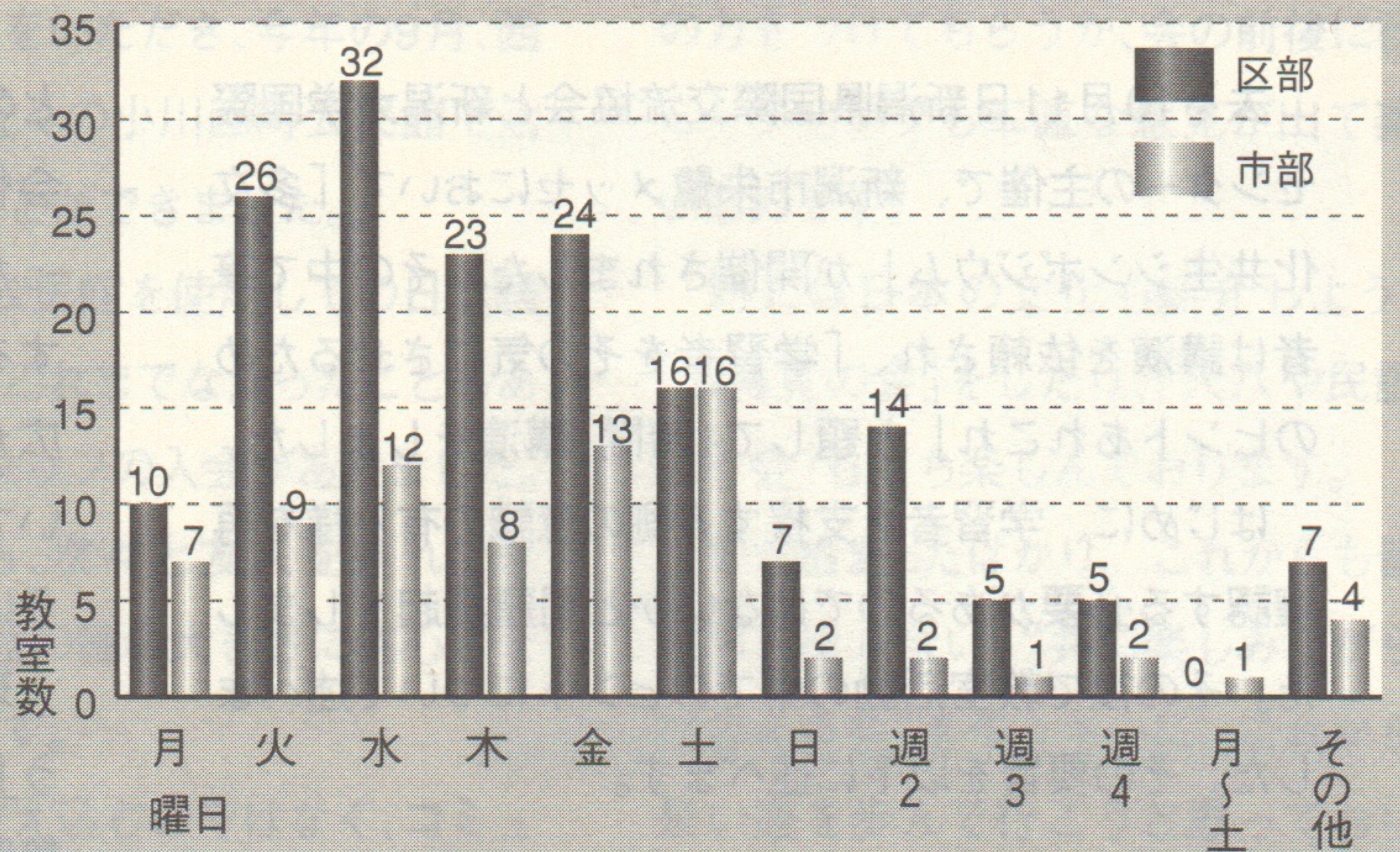


図-2 活動時間帯

日中は夜の活動の約2倍、その内午前が3分の2近くを占めています。一日に2、3回クラスを開き、活動をしているところがあります。

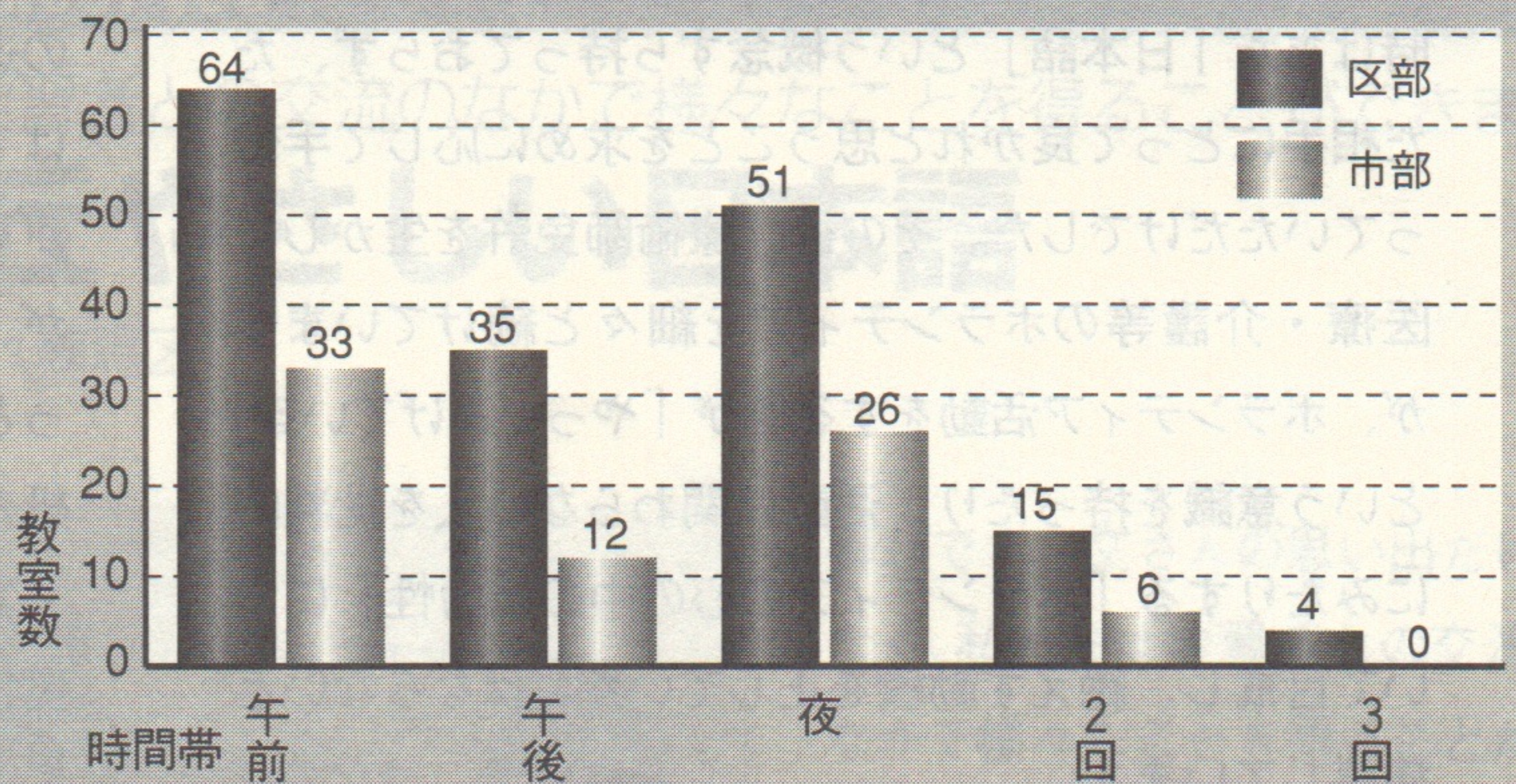
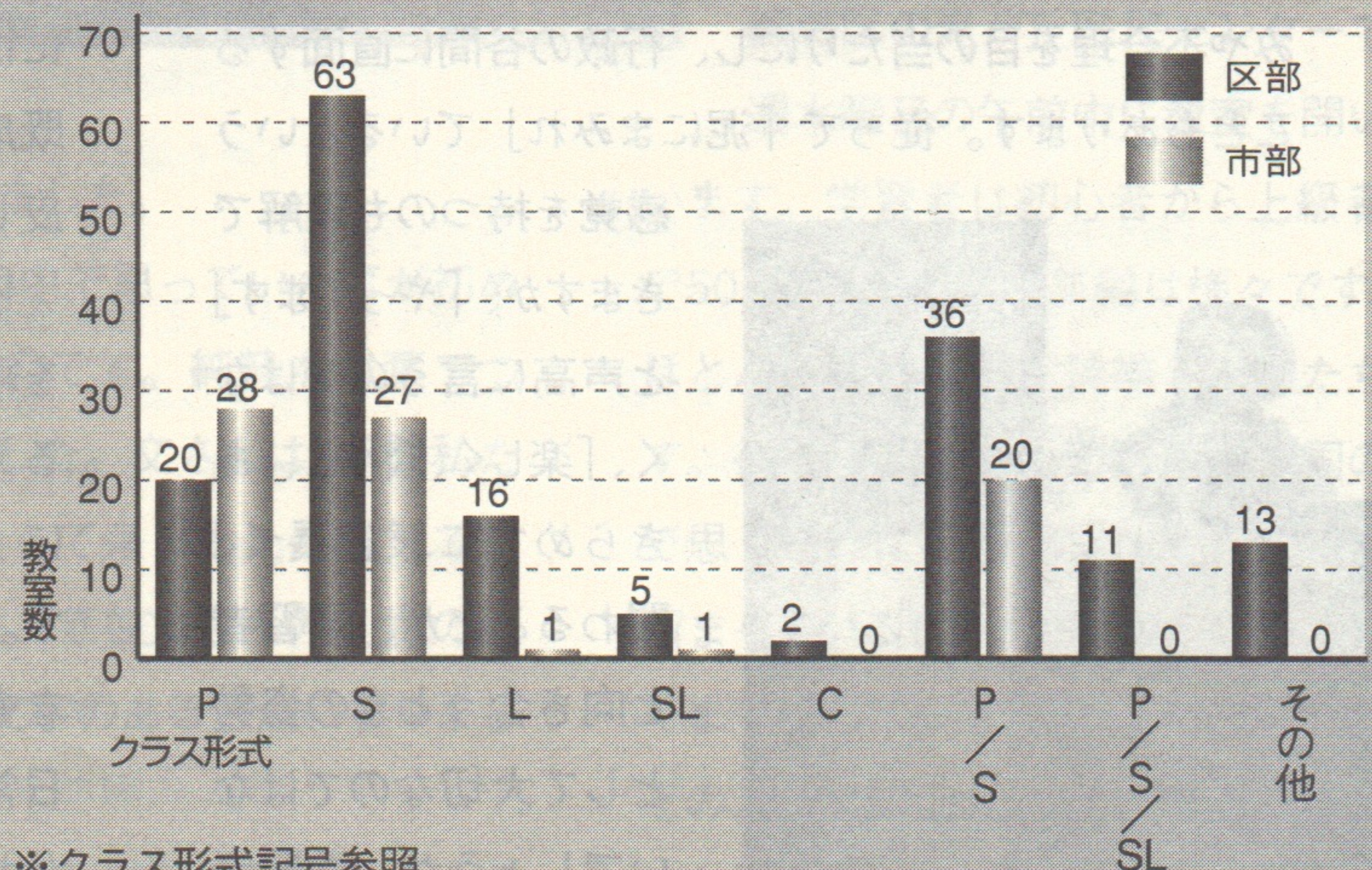


図-3 クラス形式

小グループレッスンが多く、次いで個人レッスン、または二つの組み合わせとなっています。学習者の状況に応じての対応です。しかし子どもを対象としたクラスは無いに等しい。



※クラス形式記号参照

## ネットワーク紹介

東京都内で地域に密着した日本語ボランティア教室のネットワークとして紙面に登場して貰いました。

# 西東京市 日本語ボランティア連絡会

山辺 真理子 (西東京にほんご教室) kmksty@pop02.odn.ne.jp



「西東京市日本語ボランティア連絡会」は、在住外国人の日本語学習支援や国際交流活動を行っている西東京市内の5団体が参加して、2002年2月12日に「緩やかなネットワーク」として発足しました。

「西東京市ボランティア日本語教室案内」という共通チラシを作ったのが最初の活動です。共通チラシを作ることで、市役所の外国人登録窓口やロビーのスタンド、ボランティアセンターの窓口などに置くことができようになり、外国人だけでなく日本人ボランティアへの情報伝達の大きな手段になっています。その後、新しく誕生した団体にも参加を呼びかけ、現在は7団体で、お互いの活動地域や活動時間帯を調整しあい、参加したい人たちの多様なニーズに応えるべく努力しています。

2003年9月には各団体の活動を紹介するパネル展示を市役所ロビーで行いました。広報活動の必要性を感じつつも日常活動だけで手一杯という声もありましたが、5団体が協力してできることをやっという声が大きく、実施にこぎつきました。その活動が評価され、2004年3月に

は、初めて市との共催事業で、斎藤孝氏を迎え「コミュニケーション力と日本語力」について講演会を開催しました。「国際化」や「国際交流」について広く市民の方々に考えていただくことが目的で、「在住者としての外国人」を意識していただくため、斎藤氏と

外国籍の子ども達のワークショップもプログラムの一部として入れました。みぞれ混じりの天候にもかかわらず、定員を超える約200名の参加があり、講演会を楽しんでいただけ、目的に照らしても効果があったようです。

2004年度は8月31日(火)～9月4日(土)にパネル展「市民ボランティアによる国際交流活動」を柳沢公民館ロビーで開催し、最終日には「地球のリズム～世界の打楽器を叩こう～」をフランシス・シルヴァ氏を迎え市と共催しました。公民館と図書館を訪れる方々もロビーのパネル展示に興味を示して下さり質問もあり、広報活動として効果があったようです。また、実施団体のメンバーからも、「他団体の活動が分かり、参考になる」という声も挙がっています。最終日の共催イベントは、「異なる文化背景を持つ人々と言葉を超えてコミュニケーションしよう、楽しもう」という目的があり、参加者は大いに楽しめたようです。

1、2ヶ月ごとに開かれる連絡会には、7団体と市の生活文化課、ボランティア・市民活動センターのメン

バーが集まり、様々な行事についての意見交換や提言、協力要請などがざっくばらんな雰囲気の中で行われます。現在も、多言語情報提供の可能性について話し合いが継続しています。

連絡会の「緩やかなネットワーク」という言葉の意味するものは、「できるだけ負担を増やさず、実質的な活動をしていく」「協力はするが、干渉はしない」ということでしょうか。代表や会計などの役職はおかず、連絡会の開催は各団体の持ち回りになっており、会場予約、諸連絡、司会、議事録などを担当します。共通チラシ印刷費などの支出があったときは、次回の連絡会で清算します。

各団体の活動方針は微妙に異なりますが、様々な文化を持つ人々の人権が尊重され、共生できる社会を目指すという大きな目標を同じくする仲間として、今後も緩やかな協力関係を保っていきたいと考えています。

西東京市：田無市と保谷市が合併し2001年1月に誕生。人口18万5千人  
外国人登録者数2576人（人口の約1.4%）  
H16.1.1現在



## nice to meet you

“共に楽しみながら学び合える会”をモットーに

# 小平日本語の会

福井 芳野 (小平市)

毎週水曜日、9時半からのミーティングが終わる前から、学習者が部屋に入ってきています。

一週間ぶりの笑顔の再会から会が始まります。

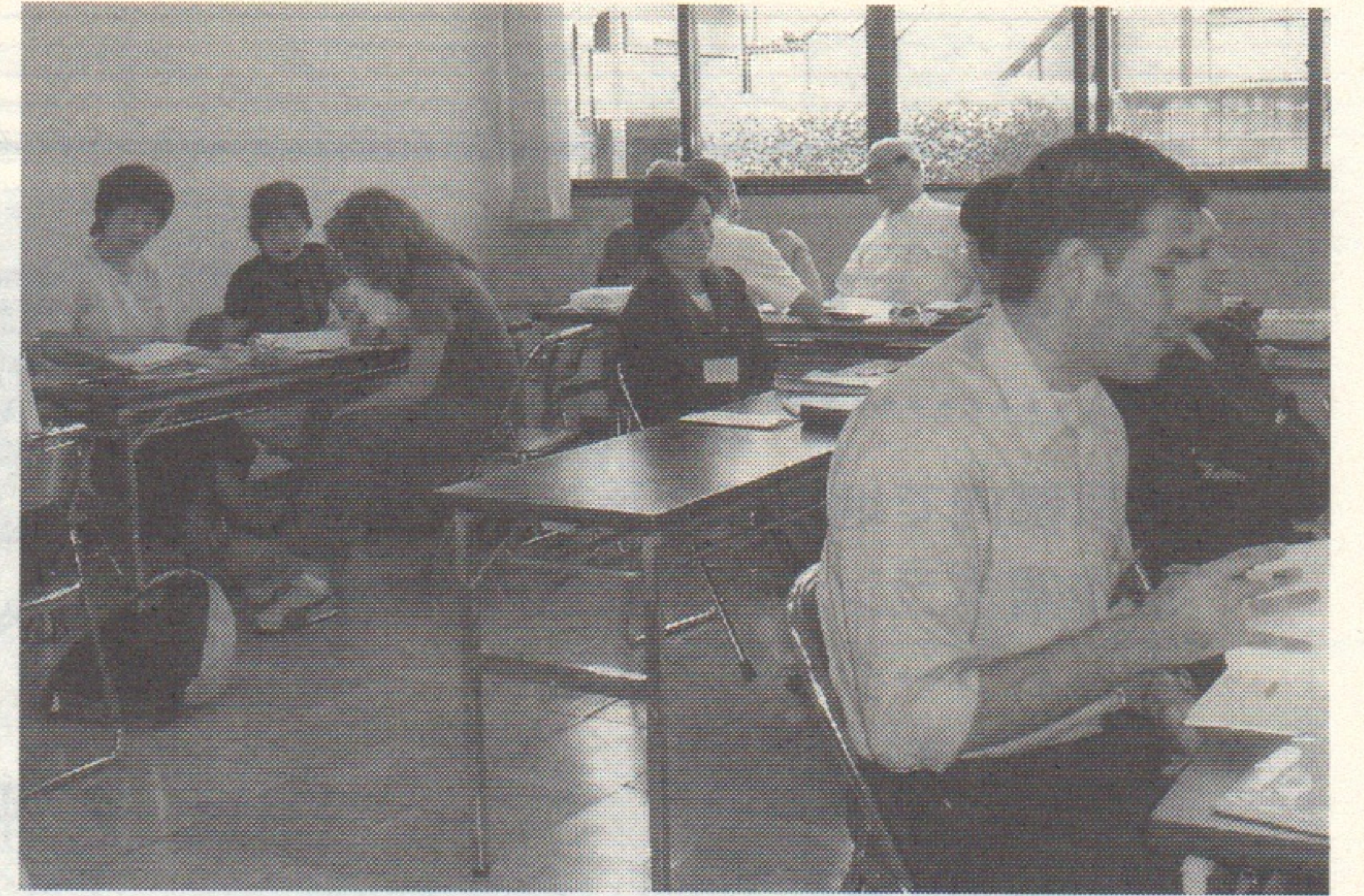
学習者と同じ目線に立ち、日本語の学習支援をすることにより、早く地域での自立した生活を送れるようサポートしたい、また日本に短期間の滞在者にも、会での学習や経験を通して少しでも

日本のことを知ってもらいたいという思いで会が発足しました。そしてTNVN、社協はじめ色々な方

のアドバイスをいただき、今年の9月、西武線小川駅近くの小川西町公民館で活動を始めることができました。

当市では、公民館を使用しての日本語を教える会がこれまでなかったこともあり、多くのスタッフの入会がありました。また学習者も、次々と友人を連れてきて、彼らの友達の輪の大きさに感心させられております。

日本語を教え込むのではなく、コミュニケーションを大事にし、いかに日本語



の力をつけてもらうか、会の前後に行うミーティングも率直な意見が出て楽しいものです。

時には日本の文化も紹介しようと、「お月見の会」をしたり、「尺八や民謡を聴く会」も持ち楽しんでおります。

まだ始まったばかり。これからも皆で知恵を出し合い、“共に楽しみながら学び合える会”をモットーに、これからの長い道を歩んで行こうと思っております。

## 会員団体紹介

# Nice to Meet You

「光が丘やさしい日本語」教室に文さんが来たのは、1999年の1月でした。私たちはこの70歳を過ぎた女性が自分の名前の字も知らないでずっと日本で生活してきたと聞いて驚いたのです。

戦後の混乱期に韓国から両親と来日した14歳の文少女は、学校へいく事もできず食べるために働くのが精一杯だったそうです。でも読み書きがまるでできなくて働けるのでしょうか。「分からなければ聞けばいいですよ。」私の愚問に文さんは事も無げに答えました。

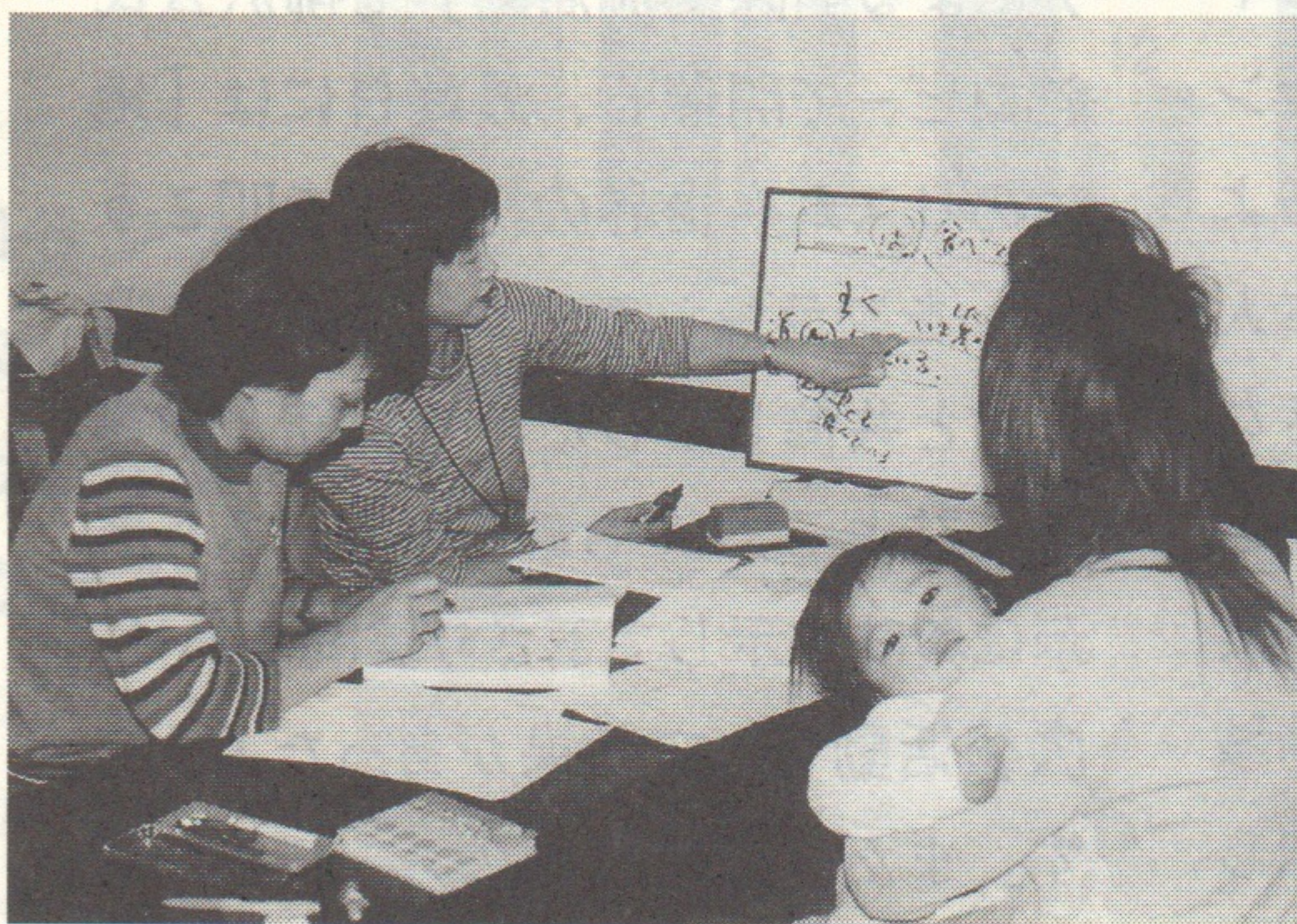
それから1年、文さんは平仮名が書けるようになりました。でも「せんせい」を「せえんせ」とか「思いました」を「もいまた」としか書けませんでした。日常会話は日本人と同じに話せるのですが、無声化された音を字にできなかつたり、助詞の「を、へ」を「お、え」と書いてしまうのです。それでも文さんは作文を書

## nice to meet you

私たちは学習者との交流のなかで様々なことを得ることができます

# 光が丘やさしい日本語

前田 みち子 (練馬区)



いてきてくれました。

70年間心の中で思っていた事が初めて字になったのです。純粋な言葉でつづられた文でした。文さんは2年間私たちの教室に通って来ましたが病気で亡くなりました。でも文さんの人生の最後の2年間は文字のある生活になりました。

そしてそれを手伝えた事は私たちの

喜びです。文さんの思い出だけでなく、私たちは学習者との交流のなかで様々なことを得ることができます。そしてこのような体験があるから日本語ボランティア活動を続けられているように思います。「光が丘やさしい日本語」は東京都練馬区の光が丘区民センターで毎週水曜日の午前中に教室を開いて

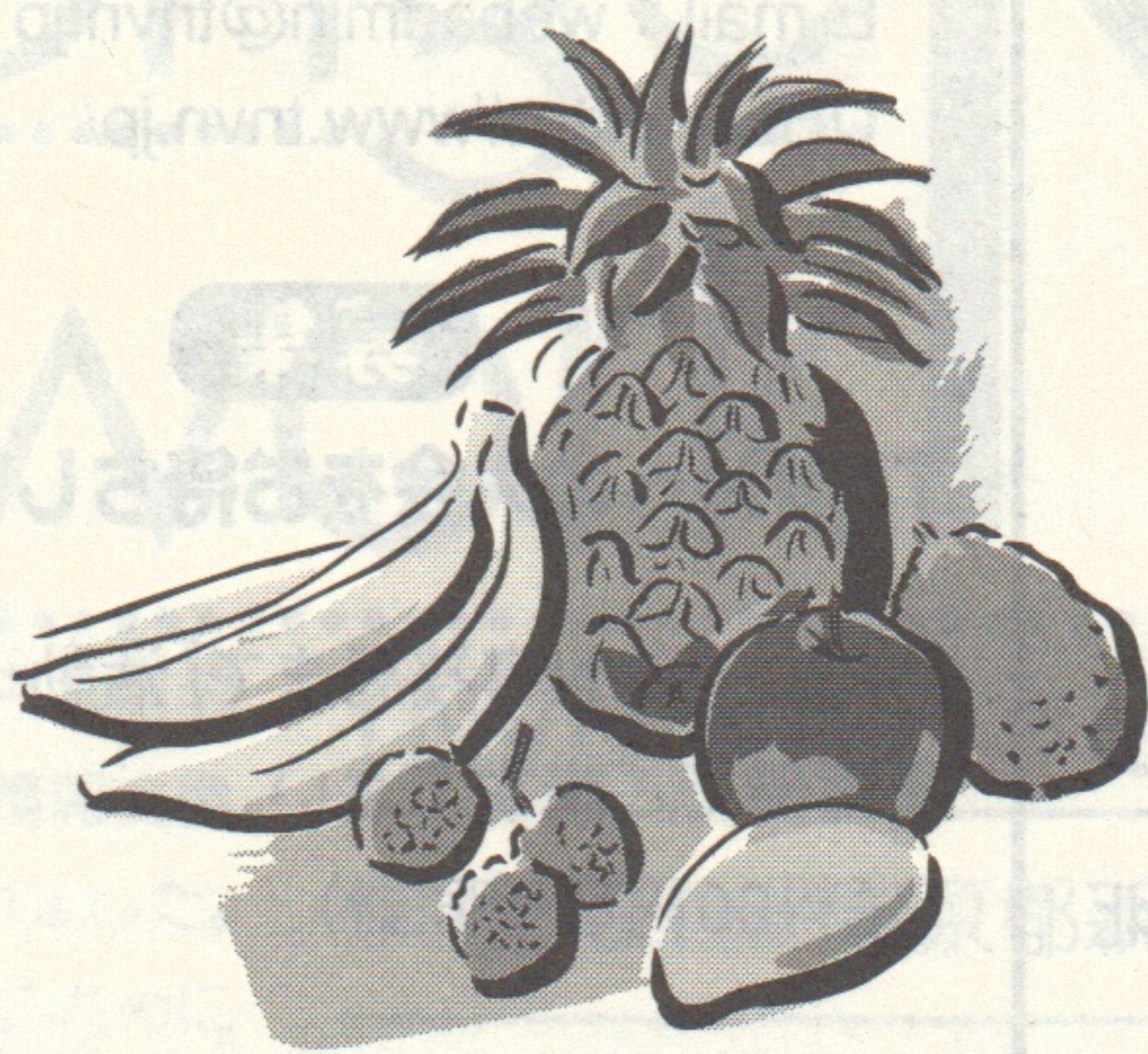
います。学習者は初心者から上級者まで50名余り、国籍や年齢は様々ですが、ほとんどが日本人と結婚した方たちです。彼らが教室に来た時には、異国の地で思うように表現できなくて心の中に溜まっている思いを臆することなく心ゆくまで話して行って欲しいと思います。そのような居心地の良い場所でありたいと思っています。

学習者の声

夏の集いに参加して

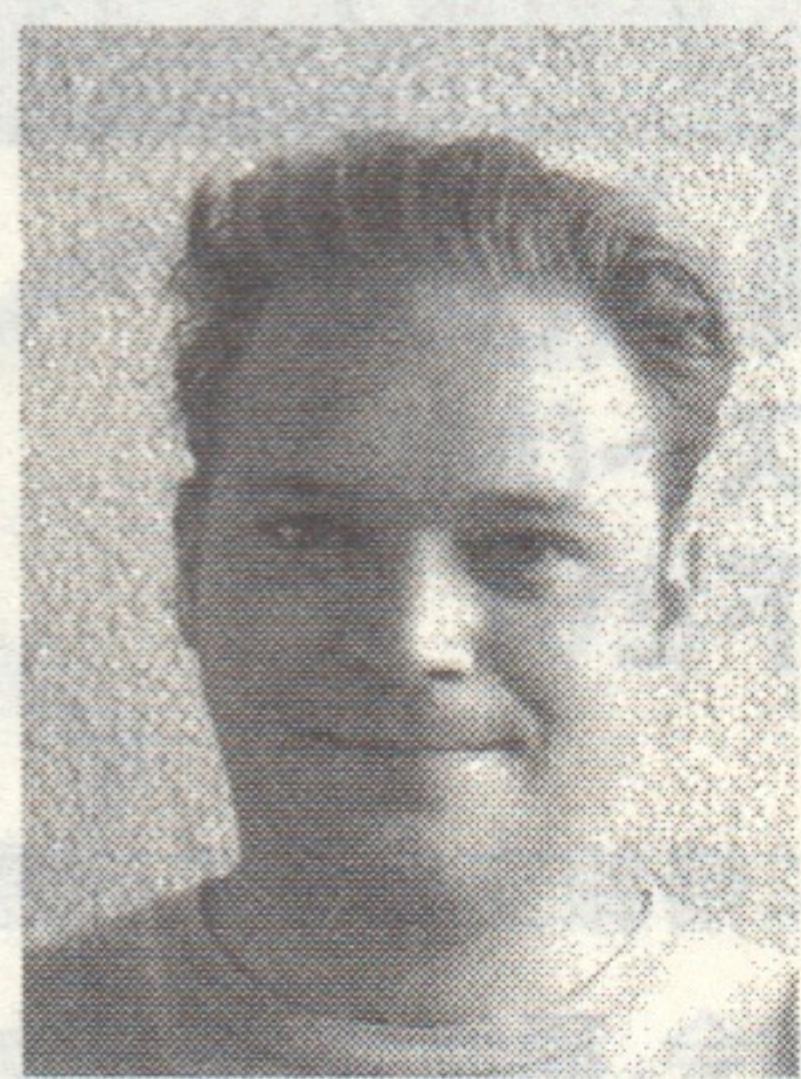
ダニー・フランス  
ニュージーランド

まちだ地域国際交流協会・MIFA(町田市)



本語をもっと勉強するために、日本語の教科書を買います。頑張ります(^\_^)

(MIFAニュース9月号から転載)



MIFAのパーティにはじめていきましたが、凄くたのしかったです。特に食事が、フルーツが最高でした。そしてお茶会はとても興味深いものでした。ニュージーランドにはないので。みんなで盛り上がったビンゴで、図書券をもらったので、日

ボランティアの声

佐久間 柊守  
日本語学習市場(台東区)

日本語学習市場で教習者としてボランティア活動を通して感じたこと

教習を始めて以来、教室には数えることが出来ないほど大勢の方がいろいろな国から見えました。学習の目的も程度も様々です。入門クラスおよび初級クラスの学習者を教科書で区切っていた授業体制を、それぞれの目的・程度にあわせて自在に変化させることによって、習得する早さにも程度にも効果がみられるようになりました。

学習者は少しずつでも話せることが出来るようになったり、かなり難しい漢字も読めたり書けたりすることが出来るようになり、自信が芽生え、その自信が会話の力を増して行っているようです。その自信に後押しされて、中級に進んでいく学習者を見るのは大変楽しいことです。

この授業体制を整えるために、教習者は学習者の受け入れ態勢をいつも門戸を開き、その日の学習者の人数や程度に合わせて対応できるように幾通りもの教材を準備しています。

学習者の満足を得られた時が教習者の至福の時です。

教習者としての希望は

1. 日本語教習団体としての年間行事日程や目標がはっきりしていること。また、そのための情報が常に全員に速やかに行き渡ること(教習者のみならず必要な事項ならば学習者にも)。全体的な行事ならばそれぞれの団体の役割分担をはっきりさせること。
2. 授業のための教室が抽選無しにいつでも確保されていること。区役所の1室、統廃合後の小学校の教室の一つなど。抽選漏

れで部屋が確保できないため授業が出来ないこともあります。また授業のための教室の使用が無料になること(現段階は教習者と学習者が同額負担して支払っています)。1団体1部屋あれば十分です。

3. 教授法の講習修了後、ボランティア活動に移行する教習者の数が講習受講者の数に比較して、30%以下ならば新たな講習者を募集するより現在の教習者のグレードアップ用の講習を計画して欲しい。

このような環境整備により、一層充実した日本語教室が行われるのではないかと考えています。

ボランティア活動とは相手の必要とすることにどれだけ多くの力になれるのかということだと思います。日本語教習者は日本語を学習者に教えて上げる、単純にそのことだけに専念すればそれでいいと思っています。日本語を学ぶと言うことが如何にその学習者の生活に密着し、生きるための大事な部分を占めているとしたら、教習者も真剣に取り組まなくては出来ないことです。とは言うものの学習は楽しくなければ長続きしません。学習者にも教習者にも。ですから教習者たちは力を合わせてお互いの授業がやりやすいように協力しあい、毎週教室で会えることを楽しんでいます。これからの授業のあり方を話し合うときはワクワクした気分を味わっています。そろそろクリスマスです。学習者全レベル合同で何か寸劇でもしたいなあと考えていますが、果たして夢は実現するのでしょうか。

**東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局**

下記の時間通り活動しています。

◆日時：毎週金曜日

第1、第3、第5 金曜日／午後2時～4時

第2、第4 金曜日／午後2時～6時

◆場所

東京ボランティア・市民活動センター  
JR、地下鉄（東西線・有楽町線・南北線・大江戸線一出口B2b）

飯田橋駅下車

セントラルプラザビル 10F ロビー

◆日本語ボランティア相談窓口

日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフが応えています。電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。

またメールでのお問い合わせにも応えています。

ご意見もお待ちしています。

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1  
東京ボランティア・市民活動センター  
メールボックス NO.4

TEL：03-3235-1171

（呼出：金曜日活動時間帯のみ）

FAX：03-3235-0050  
E-mail：webadmin@tnvn.jp  
URL：http://www.tnvn.jp/

**募集**

**TNVNへの入会をお待ちしています**

詳細はTNVN事務局まで「活動・入会案内」を郵便でご請求下さい。  
（送料90円切手同封）

**TNVNスタッフ募集！！**

TNVNの事務局スタッフ・ニュースレター編集員となってTNVNスタッフと一緒にボランティアでご協力いただけませんか。TNVN事務局までご一報をお待ちしています。

**ニュースレターの記事大募集！！**

ニュースレター編集担当までご連絡下さい。



**TNVN会員のための  
メーリングリスト(ML)に  
ご参加下さい**

会員メンバーが相互に情報交換をする場や、各地で色々な講演会、研修会、催し物などの情報を共有するために、TNVNではML：tnvn-all@freeml.comを作り、ネットワークとしての機動性を高めるようにしています。参加されるメンバーを"e-member"とします。

"e-member"には正会員（団体）、協力会員（個人）、正会員団体で活動しているメンバーにご参加をいただきます。現在、それぞれ49団体、14名、協力会員14名の方々がMLを活用されています。

まだMLに参加されていない団体会員(正会員、賛助会員)の皆様、会員団体で活動されているボランティアの方々に、MLへの参加をお願い致します。

MLへの参加をご希望される方は団体名、氏名、メールアドレスをTNVNアドレス：webadmin@tnvn.jpまでご連絡ください

**会員便り**

今回から新しく設けましたご利用下さい

**まちだ地域国際交流協会 (MIFA) がニュースの復刻版を作成**

MIFAは昨年10月に実施した創立10周年記念事業の一つとして、創立以来昨年末までのニュースの復刻版を作りました。MIFA会員及びMIFA関係団体に寄贈または販売するために限定版として作りました。取り上げたニュースの期間は93年4月～03年12月で、MIFAのニュースを発行順にまとめた限定版です。ページ数 約760ページ。

これをTNVN会員に特別に3部まで販売します。◆単価2,500円（他に送料450円）

◆申込先：床呂英一

m-tokoro@mta.biglobe.ne.jp

TEL：042-734-3817

◆代金支払い方法：MIFAに郵便振込み（先着順）

**事務局便り**

2003年6月よりE-MailでTNVNあてにくる学習希望者からの問合せ対応を担当しています。日本語の問合せの文章は、たどたどしく、1行の問合せを入力するのも大変だったろうと思えるもの。こちらの回答文章のほうに拙劣に見えるような流暢なもの。しかしどの問合せからも「何とかして日本語が使えるようになりたい」と言う気持ちがひしひしと伝わってきます。ですから問合せの文中から少しでも希望に近い教室を紹介するように努めています。

また、やっとの思いでTNVNへの問合せ文を入力したであろう学習希望者に、「次の教室に直接お問合せください」と言うだけ

ではつれないような・・・そこで紹介した各教室あてに「貴教室を紹介しました」と言う連絡を入れるようにしました。これにより少しでも学習希望者と教室の連絡が取れやすくなればと期待しています。

この業務の担当を始めて1年半。相手の顔が見えない分、この回答でよかったらうか？希望の教室は見つかったらうか？と不安になることもあります。でも「教室と連絡が取れました。ありがとうございました」と言う返事が来ると天にも上るうれしさがあります。日々の生活の中ではなかなか味わえないこの「うれしさ」は最高のご褒美です。（松川）

**新会員紹介**

●小平日本語の会

●杉並日本語会話の会

●うぐいす日本語教室

**会員数**

（2004年11月15日現在）

正会員：77団体 協力会員：64名

賛助会員：5団体

●編集／岡田 美奈子、小川 伶子、梶村 勝利、木村 茂、床呂 英一、西岡 暉純、林川 玲子  
●レイアウト／鶴田 環恵